

令和3年度大阪府南河内保健医療協議会 議事概要

日 時 : 令和4年2月8日(火)午後2時から午後3時 45 分

開催場所 : Web 開催

出席委員 : 35 名

(委員定数 42 名、定足数 22 名であるため有効に成立)

藤岡委員 山口委員 調子委員 藤本委員 砂川委員 内田委員 中西委員
下村委員 青木委員 落合委員 豆野委員 大橋委員 船多委員 磯野委員
中西委員 立花委員 阪本委員 山本委員 伊藤委員 伊原委員 寺元委員
赤松委員 松田委員 村井委員 芋生委員 稲村委員 和田委員 川浦委員
大山委員 新田委員 子安委員 西口委員 東田委員 肱岡委員 杉本委員

■議題1 令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料5】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料5】(別添) 南河内二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料1】過剰な病床の状況

【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料3】地域医療構想に関する各種データHP公表について

【参考資料4】重点支援区域について

【参考資料5】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)

【参考資料6】医師の働き方改革について

【参考資料7】小児医療提供体制の検討について

(意見)

○救急医療(病床)においては、適度な空き病床がないと良好な受け入れ体制が整わない。救急を行う急性期病院の基本的な病床数を一概に計画されることに問題意識を持っている。第8次医療計画の策定時には救急医療を行っている医療機関の病床数については、配慮願いたい。

(大阪府の回答)

○第8次医療計画の策定に向けて、新興感染症等の感染拡大時に備えた考えは示されているが、救急病院における急性期の空き病床に関する考え方は含まれていない。第8次医療計画を検討する際の参考意見として承る。

■議題2 基準病床数の見直しの検討

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料2】令和3年度基準病床数の見直しの検討について

(意見・質問なし)

→来年度も引き続き見直しを検討する

■議題3 令和3年度南河内二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況

資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明

【資料3】令和3年度南河内二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

(意見・質問なし)

■議題4 令和3年度南河内二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明

【資料4】令和3年度病院プラン各医療機関別一覧

【資料6】非稼働病床の現況について

【資料7】令和3年度南河内病院連絡会結果(概要)

【資料7】(別紙)令和3年度南河内二次医療圏病院連絡会参加率と

病院プラン提出状況

【資料7】(別添)市立藤井寺市民病院の病院プランに関する意見照会について

【資料8】地域医療構想にかかる医療・病床懇話会の意見(概要)

(大阪府から補足説明)(資料7)

○PL 病院の病院プラン調査において、「地域周産期母子医療センター」の認可をめざすという記載があったが、PL 病院より「地域周産期母子医療センター」の申請があれば、高度急性期への転換とは別に、地域の医療需要等を踏まえ、大阪府担当部署と慎重に協議する。

(意見)

○医療需要だけでなく、供給(医療のマンパワー)側からの検討も必要。その観点からも、周産期のセンター化はこの地域では一定、必要と考えている。

<市立藤井寺市民病院について>

(意見・質問なし)

→継続協議

＜市立藤井寺市民病院以外の病院の今後の方向性について＞

（意見・質問なし）

→合意

＜非稼働病床の状況について＞

（意見・質問なし）

＜重点支援区域の申請について＞

（意見・質問なし）

→南河内医療圏域は申請を行わない

＜令和3年度病床機能再編支援事業の実施について＞

（南河内医療圏域は申請医療機関なし）

＜近畿大学病院長より移転に向けての現状報告＞

- 令和6年移転予定であったが令和7年11月に変更。新型コロナウイルス感染拡大により重症患者の受け入れを行い、設計施工業者選定のプロセスに時間がかかり移転時期が伸びた。本年10月着工予定。
- 新病院の規模は800床。がん、心臓・脳血管疾患などの高度急性期医療、IT化による患者サービスの向上を図る。
- 移転後は南河内医療圏の基幹病院としての役割を果たす。
- 後継医療機関を大阪府と大阪狭山市と病院とで協議している。

（大阪府より情報共有）

- 2月3日開催の堺市保健医療協議会において、委員より、近畿大学病院移転後の影響については、泉州・南河内など近隣他圏域でも議論してほしいとの意見があったため、共有する。

（意見）

- 近畿大学病院の移転期日の1年前までには、119床をスタートラインとする回復期機能を中心とした後継病院の確保を希望。
- 大阪狭山市では、本年度当初より狭山ニュータウン地区の再生推進計画の策定を進めており、近畿大学病院の移転と後継病院を想定したうえで地域の活性化を図る。

■議題5 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明

【資料9】地域医療への協力に関する意向書提出状況(診療所新規開設者)

【資料10】地域医療への協力に関する意向書提出状況

(医療機器新規購入・更新者)

(質問・意見なし)

■議題6 南河内二次医療圏における第7次大阪府医療計画の中間評価

資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明

【資料11】第7次大阪府医療計画中間評価 南河内二次医療圏

【資料11】(別添)令和3年度 南河内圏域 各懇話会・検討会等開催状況

(質問・意見なし)

■議題7 地域医療介護総合確保基金(医療分)

資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明

【資料12】地域医療介護総合確保基金(医療分)について

(質問・意見なし)

■議題8 救急告示医療機関の認定状況

資料に基づき、大阪府富田林保健所から説明

【資料13】救急告示医療機関一覧(南河内二次医療圏)

(質問・意見なし)

■議題9 その他

(質問・意見なし)